

令和7年6月18日
青森県産業技術センターりんご研究所

リンゴ園へのチャバネアオカメムシの飛来が多くなっています。

1. リンゴ園における発生状況

6月に入ってからカメムシに関する問い合わせが増加しています。津軽地方では、例年クサギカメムシ（図1～2）の発生が主体でしたが、本年はチャバネアオカメムシ（図3～6）の発生が主体となっています。チャバネアオカメムシ成虫は体色が緑色で翅は褐色を呈します。昨年秋に多く見られた緑色のツヤアオカメムシとは異なる種類です。

現在リンゴ園では成虫が多くみられているほか、果実や葉の表面に産み付けられた卵塊も目立っています。成虫が吸汁した果実（図7）は表面から内側に向かって針を刺したような痕跡が残る（図8）、果実肥大に伴って吸汁部位が凹むことがあります。



図1 クサギカメムシ成虫



図2 クサギカメムシふ化幼虫



図3 チャバネアオカメムシ成虫



図4 チャバネアオカメムシ卵塊
(果実上)



図5 チャバネアオカメムシ卵塊
(葉上)



図6 チャバネアオカメムシふ化幼虫

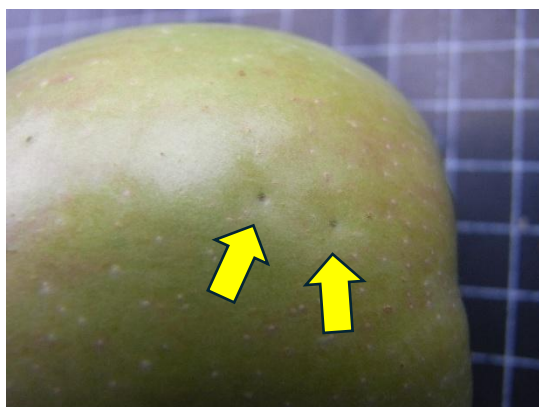


図7 カメムシ類によるリンゴ果実の吸
汁被害（表面）



図8 カメムシ類によるリンゴ果実の吸
汁被害（断面）

2. 防除の要点

- (1) 園内で成虫、卵塊、幼虫が確認された場合には、すみやかに捕殺、除去する。
- (2) 薬剤防除にあたっては「令和7年度農作物病害虫防除指針」を参照するとともに、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

農林水産省「農薬登録情報提供システム」<https://pesticide.maff.go.jp/>